

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公表番号】特表2005-504846(P2005-504846A)

【公表日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-534427(P2003-534427)

【国際特許分類】

C 07 D 471/04 (2006.01)

A 61 K 31/4375 (2006.01)

A 61 K 31/496 (2006.01)

A 61 K 31/5377 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

C 07 D 471/06 (2006.01)

C 07 D 491/153 (2006.01)

【F I】

C 07 D 471/04 1 1 2 Z

A 61 K 31/4375

A 61 K 31/496

A 61 K 31/5377

A 61 P 35/00

A 61 P 43/00 1 0 5

C 07 D 471/06

C 07 D 491/153

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年9月19日(2008.9.19)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

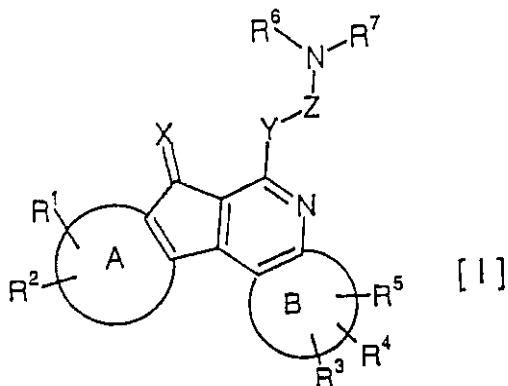
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

下記式[I] :

【化1】



[式中、環Aは、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>により置換されていてもよい、窒素含有の5又は6員の複素芳香族環であり；

R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は独立して、水素、ハロゲン、(C1 - C5)アルキル、ヒドロキシ、メルカプト、(C1 - C5)アルコキシ、(C4 - C7)シクロアルキルオキシ、(C3 - C7)シクロアルキル(C1 - C5)アルキルオキシ、(C1 - C5)アルキルチオ、(C1 - C5)アルキルスルフィニル、(C1 - C5)アルキルスルホニル、アミノ、モノ-(C1 - C5)-アルキルアミノ、ジ-(C1 - C5)-アルキルアミノ又は-Y'-Z'-N(R<sup>6</sup>')(R<sup>7</sup>')であり；ここで

Y'は、O、S又はN(R<sup>9</sup>')であり、ここでR<sup>9</sup>'は水素又は(C1 - C5)アルキルであり；又はY'がN(R<sup>9</sup>')である場合、N(R<sup>9</sup>')は、N(R<sup>6</sup>')及びZ'と共に脂肪族環を形成し；

Z'は(C2 - C5)アルキレンであり；又はZ'はN(R<sup>6</sup>')及び(NR<sup>9</sup>')と共に脂肪族環を形成し；又はZ'はN(R<sup>6</sup>')と共に脂肪族環を形成し；

R<sup>6</sup>'及びR<sup>7</sup>'は独立して、水素、(C1 - C5)アルキル、(C3 - C5)アルケニル、(C3 - C7)シクロアルキル、(C4 - C7)シクロアルキル、(C3 - C7)シクロアルキル(C1 - C5)アルキル又はアリール(C1 - C5)アルキル(ヒドロキシ、(C1 - C5)アルコキシ、アミノ、モノ-(C1 - C5)-アルキルアミノ及び/又はジ-(C1 - C5)-アルキルアミノから成る群から選択された1~3個の置換基により任意に置換される)であり；又は

R<sup>6</sup>'及びR<sup>7</sup>'は、酸素、窒素及び/又は硫黄から選択された1~3個のヘテロ原子を任意には含んでいてもよい脂肪族環を、隣接する窒素と共に形成し；又はR<sup>6</sup>'は、隣接する窒素及びZ'と共に脂肪族環を形成し；又はR<sup>6</sup>'は、隣接する窒素、N(R<sup>9</sup>')及びZ'と共に脂肪族環を形成し；

環Bは、ベンゼン環、ナフタレン環、又は(C1 - C5)アルキレンジオキシ基により置換されたベンゼン環であり、これらは、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>により任意に置換されていてもよい；

R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>は独立して、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、メルカプト、(C1 - C5)アルキル、(C1 - C5)ハロゲン-アルキル、(C1 - C5)アルコキシ、(C1 - C5)ハロゲン-アルコキシ、(C3 - C5)アルケニルオキシ、(C4 - C7)シクロアルキルオキシ、(C3 - C7)シクロアルキル(C1 - C5)アルキルオキシ、アリール(C1 - C5)アルキルオキシ、(C1 - C5)アルキルチオ、(C1 - C5)アルキルスルフィニル、(C1 - C5)アルキルスルホニル、アミノ、モノ-(C1 - C5)-アルキルアミノ又はジ-(C1 - C5)-アルキルアミノであり；

XはO又はN-O-R<sup>8</sup>であり、ここでR<sup>8</sup>は水素、(C1 - C5)アルキル、(C3 - C5)アルケニル、(C4 - C7)シクロアルキル、(C3 - C7)シクロアルキル(C1 - C5)アルキル、アリール又はアリール(C1 - C5)アルキルであり；

Yは、O、S又はN(R<sup>9</sup>)であり、ここでR<sup>9</sup>は水素又は(C1 - C5)アルキルであり；又はYがN(R<sup>9</sup>)である場合、N(R<sup>9</sup>)はN(R<sup>6</sup>)及びZ'と共に脂肪族環を形成し；

Zは、(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキル基により任意に置換された(C<sub>2</sub> - C<sub>5</sub>)アルキレンであり；又はZはN(R<sup>6</sup>)及びN(R<sup>9</sup>)と共に脂肪族環を形成し；又はZはN(R<sup>6</sup>)と共に脂肪族環を形成し；

R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は独立して、水素、(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキル、(C<sub>3</sub> - C<sub>5</sub>)アルケニル、(C<sub>4</sub> - C<sub>7</sub>)シクロアルキル、(C<sub>3</sub> - C<sub>7</sub>)シクロアルキル(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキル又はアリール(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキル(ヒドロキシ、アルコキシ、アミノ、モノ(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>) - アルキルアミノ及び/又はジ-(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>) - アルキルアミノにより任意に置換される)であり；あるいは

R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、酸素、窒素及び/又は硫黄から選択された1～3個のヘテロ原子を任意には含んでいてもよい脂肪族環を、隣接する窒素と共に形成し；又はR<sup>6</sup>は、隣接する窒素及びZと共に脂肪族環を形成し；又はR<sup>6</sup>は、隣接する窒素、N(R<sup>9</sup>)及びZと共に脂肪族環を形成する]

で表される多環式化合物、及び医薬的に許容できるその塩。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

環Bは、ベンゼン環、ナフチレン環、又は(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキレンジオキシ基により置換されたベンゼン環であり、これらは、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>により任意に置換されていてもよく；

R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>は独立して、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、メルカブト、(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキル、(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)ハロゲン-アルキル、(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルコキシ、(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)ハロゲン-アルコキシ、(C<sub>3</sub> - C<sub>5</sub>)アルケニルオキシ、(C<sub>4</sub> - C<sub>7</sub>)シクロアルキルオキシ、(C<sub>3</sub> - C<sub>7</sub>)シクロアルキル(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキルオキシ、アリール(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキルオキシ、(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキルチオ、(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキルスルフィニル、(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキルスルホニル、アミノ、モノ-(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>) - アルキルアミノ又はジ-(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>) - アルキルアミノである；

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

好ましい態様においては、本発明は、環Aが、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>により置換され得る、窒素含有の5又は6員の複素芳香族環である式[1]の化合物を含んで成る。好ましくは、環Aは、ピリジン、ピラジン、ピリダジン又はピリミジン環、及びより好ましくはピリジン環である。

好ましい態様においては、環Bは、ベンゼン環、ナフタレン環、又は(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキレンジオキシ基を有するベンゼン環であり、これらは任意にはR<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>により置換されている。

さらに好ましい態様においては、本発明は、環Bがベンゼン環、ナフタレン環又は(C<sub>1</sub> - C<sub>5</sub>)アルキレンジオキシ基を有するベンゼン環である、式[1]の化合物を含んで成る。最も好ましくは、環Bはベンゼン環である。